

令和2年度 共同募金運動について

じぶんの町を良くするしくみ。
助けを必要としている人たちのために役立てられます。



1. 共同募金の目的

益城町共同募金委員会

誰もが安心・安全に暮らせる町づくりを目指して

赤い羽根共同募金は、民間の運動として昭和22年に、住民が主体の取り組みとしてスタートしました。その後、社会福祉法のもとに「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

現在、社会情勢も刻々と変化する中で、民間のNPOやボランティア団体の活動も活発になっています。赤い羽根共同募金は、こうした団体や地域のために使われています。

大規模災害にも共同募金は役立っています

共同募金の約70%は、その地域のために、つまり「じぶんの町を良くするしくみ」として使われています。戸別募金や街頭募金、法人募金といったさまざまな形で年間200万人というボランティアの活動により共同募金運動は支えられており、また、募金の一部を災害等準備金として、東日本大震災や今回の平成28年熊本地震といった未曾有の災害にも共同募金は活用されます。災害ボランティアセンターの運営の大部分も共同募金で賄われています。こうした中で地域の皆さんが1日も早く安心できるように活動が展開されてきました。

皆さん1人ひとりの思いやりが共同募金の活力となり、安心・安全のまちづくりにつながっています。



赤い羽根は

思いやり

たすけあい

しあわせ



のシンボルです。

☆ 戸別募金や職域募金について

共同募金は、国民の福祉総参加をめざす募金運動です。国民一人ひとりが、家庭や職場、街頭などでこの運動に参加されるようさまざまな方法で運動を展開しています。

☆ 目標額や目安額について

共同募金は、厚生労働省告示により全国一斉に実施しますが、運動は各都道府県単位で行います。県共同募金会は運動を開始する前に、県内の福祉施設や団体から配分要望額を受け、配分委員会で配分計画を検討し、その計画にそって目標額を定めます。全体の目標額に対し、寄付者の方々の判断材料としての目安額を示すこととなりますが、決して強制的な配当額ではありません。

2. 募金実績・配分

一人ひとりの力は小さくても、たくさん集まると大きな力になります。

1. 共同募金収入実績(令和元年度)

・戸別募金	3,039,200 円
・法人募金	1,083,103 円
・職域募金	214,422 円
・ワッペン募金	111,231 円
・自動販売機募金	289,549 円
・街頭その他	313,841 円
募金合計	5,051,346 円

(1) 平成30年度共同募金収入実績(歳末たすけあい含む)
募金合計 7,550,295 円

(2) 共同募金配分金収入(令和元年度)
令和元年度配分 5,860,295 円
配分合計 5,860,295 円

2. 歳末たすけあい収入実績(令和元年度)

・戸別募金	2,162,436 円
・老人会竹筒募金等	233,525 円
・その他	1 円
募金合計	2,395,962 円
募金総合計	7,447,308 円



(3) 共同募金配分事業支出内訳(令和元年度)

★令和元年度配分事業	
・ふれあい交流会(380名参加、年2回、5月・11月)	493,200 円
・在宅介護者のつどい(55名参加、年3回、6月・10月・11月)	11,550 円
・福祉団体親善スポーツ大会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	25,208 円
・地域サロンサポーター養成講座(35名参加、年2回、6月・11月)	91,036 円
・親育ち支援事業(20名参加、年2回、6月・11月)	60,000 円
・校区別福祉合同研修会(59名参加、木山・福田校区のみ開催)	169,806 円
・共同募金報告会(R1.9.19)	2,940 円
・きままに・スポーツ健康フェスタ(R1.10.13)	19,250 円
・ボランティア協力校事業	325,030 円
・ボランティア交流会(22名参加、R1.10.26、山鹿市)	104,750 円
・ワークキャンプ事業(37名参加)	70,840 円
・福祉体験(広安小、122名参加)	1,100 円
・小地域活動配分金(64囀託区)	292,079 円
・福祉団体助成(老人会、民児協等活動助成)	1,861,000 円
・見舞事業(666世帯)	1,048,642 円
・調査・広報事業(社協だより)	754,268 円
配分小計	5,330,699 円

※ 収入と支出の差額529,596円は令和2年度へ繰り越されます。

県共同募金会へ全額送金

県共同募金会配分委員会により次年度配分先及び配分額決定

社協の地域福祉事業費として

(実績から広域配分目標額を差し引いた額が配分)

その他は、県内の施設・NPO・ボランティア団体等に配分され活用される



みなさまのあたたかいご支援とご協力を、
よろしくお願いたします。



※ 地震後の復旧の中で募金に対する協力が難しい部分もあるかとは思いますが、できる限りご協力いただければと思います。ただし、強制ではありませんので、地域の復興を第一にご協力いただければと思います。